



平成 20 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社バンダイナムコホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 高 須 武 男
(コード番号 7832 東証第一部)
問合連絡先名 経営管理部 ゼネラルマネージャー
浅 古 有 寿
(TEL: 03(5783)5500)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 8 日の中間決算発表時に公表いたしました、平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想(連結)を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値(連結)の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	480,000	45,000	47,000	26,500	104 円 42 銭
今回予想(B)	465,000	34,000	35,500	16,500	65 円 02 銭
増減額(B-A)	△15,000	△11,000	△11,500	△10,000	—
増減率(%)	△3.1%	△24.4%	△24.5%	△37.7%	—
ご参考:前期実績 (平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日)	459,132	42,224	45,615	24,252	95 円 73 銭

2. 修正の理由

当第3四半期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)の当社グループの業績は、ゲームコンテンツ事業が国内の業務用ゲーム機、海外の家庭用ゲームソフトを中心に好調に推移したものの、トイホビー事業や映像音楽コンテンツ事業は、ヒット商品やグループシナジー効果により好調に推移した前年同期には及ばず、アミューズメント施設事業は厳しい市場環境のなか既存店を中心に苦戦しました(詳細につきましては、本日発表の「平成 20 年 3 月期 第3四半期財務・業績の概況」をご参照ください)。

また、通期の見通しにつきましても、アミューズメント施設事業においては、下期に入り市場環境の厳しさが更に増し、当社グループの既存店につきましても引き続き低調な推移が続いており、これに伴い今期の同事業の見込を大幅に見直しております。また、玩具ホビー事業におきましても、第4四半期は定番キャラクターの新シリーズ商品を中心に順調なスタートを切れているものの、第3四半期までの厳しい業績動向を補うには至らないと想定しており、映像音楽コンテンツ事業では、国内市場の先行きが不透明なことから映像パッケージソフトの第4四半期発売タイトルの販売計画を見直しました。

なお、アミューズメント施設事業につきましては、今後の市場動向に鑑み事業戦略を再検討した結果、事業の収益性の改善を目的に株式会社ナムコの国内店舗の約2割(50～60 店)を当期末より来期にかけ閉鎖する予定です。今後は、組織改革による効率化や、出店・閉鎖のルールの見直しなどにより、収益基盤の強化を図ってまいります。この店舗閉鎖に伴い、当期に約 20 億円の特別損失の計上を見込んでおります。

以上により、平成 20 年3月期の業績予想(連結)を、前頁に記載のとおり修正いたしました。

以 上